



平成23年度

株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況

株式会社五霞まちづくり交流センターの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの1年間の経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」は平成17年4月23日のオープン以来、来場者数は順調に増加しています。平成23年度における施設延べ利用者数(レジ通過者)は、約87万人、農産物直売所を含む総売上高は約9億円、交流センターとしての経常利益は約1,900万円になりました。

地域食材 供給施設

◆レストラン「華ごぶし」



様々な地域食材を利用した食事を提供し、家族連れや観光団体での来店が多く、愛ちゃんの

幅広いどんや天然なまずを使ったメニューも大変ご好評頂いています。

◆軽食コーナー(加工施設)

幅広い客層に利用され、特に大人気のローズポークまんに加え、五霞町産のお米やブルーベリーを使用した道の駅オリジナルのお酒もご好評頂いています。



◆農産物直売所「わだいわ菜」

茨城むつみ農業協同組合に経営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地場産農産物や

ローズポークの精肉を求める多くのみなさんに利用され、道の駅「ごか」の活気をより引き立てています。

情報施設・ 交流広場

交流広場

情報施設では、道路情報や地域情報を検索できるシステムが備わっており、様々な道路利用者に利用されています。

また、五霞東・西小、中学校の児童生徒の作品展やコスモス写真展など、年間を通して色々な展示をし、利用者の目を惹かせています。

イベント広場では、様々なイベントが開催され、利用者のふれあいの場としてにぎわっています。

売上割戻金 約990万円を 町に納付

平成23年度分の売上割戻金として、(株)五霞まちづくり交流センターから町に対し9,925,678円が納付されました。

この割戻金については、道の駅「ごか」における今後の修繕費用等へ充てる予定です。